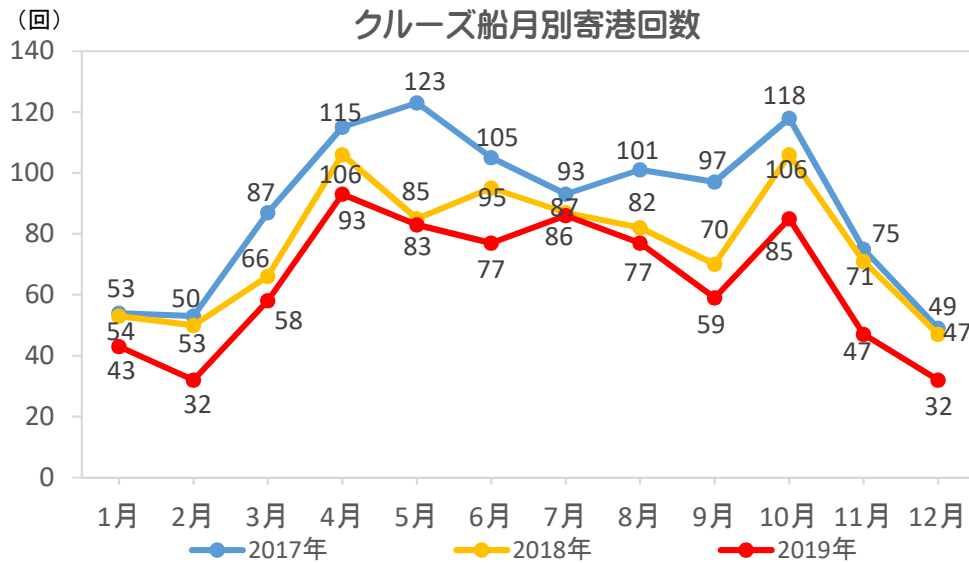


# 九州クルーズレポート2020 (1月号)

## 2019年（令和元年）九州管内港湾におけるクルーズ船寄港回数

### ●12月の速報値 前年同月比 31.9%減の32回

- ・2019年12月の九州管内港湾におけるクルーズ船寄港回数は、前年同月比 31.9 %減の 32 回。
- ・2019年12月までの九州管内港湾におけるクルーズ船寄港回数は、前年同期比15.9%減の772 回。



クルーズ船の寄港回数		九州管内（山口県下関港を含む）												参考：全国	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月合計	1～12月合計
2017年	外国船社	51	53	71	104	106	101	84	98	91	86	65	47	957	2,013
	日本船社	3	0	16	11	17	4	9	3	6	32	10	2	113	751
	計	54	53	87	115	123	105	93	101	97	118	75	49	1,070	2,764
2018年	外国船社	49	50	53	95	77	89	76	79	64	74	65	45	816	1,913
	日本船社	4	0	13	11	8	6	11	3	6	32	6	2	102	1,017
	計	53	50	66	106	85	95	87	82	70	106	71	47	918	2,930
2019年	外国船社	38	31	45	74	68	65	75	72	57	58	42	30	655	1,932
	日本船社	5	1	13	19	15	12	11	5	2	27	5	2	117	935
	計	43	32	58	93	83	77	86	77	59	85	47	32	772	2,867
前年同月比伸び率 (%)	外国船社	-22.4	-38.0	-15.1	-22.1	-11.7	-27.0	-1.3	-8.9	-10.9	-21.6	-35.4	-33.3	-19.7	1.0
	日本船社	25.0	-	0.0	72.7	87.5	100.0	0.0	66.7	-66.7	-15.6	-16.7	0	14.7	-8.1
	計	-18.9	-36.0	-12.1	-12.3	-2.4	-18.9	-1.1	-6.1	-15.7	-19.8	-33.8	-31.9	-15.9	-2.2

出所：港湾管理者からの聞き取りに基づき九州地方整備局で作成

各港における2019年12月までの寄港回数(計:772回) ※寄港回数は令和2年1月1日現在の速報値であり、後日変更される場合があります。

港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数
博多	229回	下関	23回	八代	19回	油津	8回	平土野	3回	古仁屋漁港	2回	和泊	1回
長崎	183回	名瀬	20回	宮之浦	17回	西之表	6回	福江	3回	厳原	1回		
鹿児島	106回	北九州	20回	唐津	11回	青方	4回	宮崎	2回	与論	1回		
佐世保	79回	別府	20回	細島	8回	熊本	3回	郷ノ浦	2回	佐伯	1回		

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

港湾計画課

計画企画官 工藤 寛之 (くどう ひろゆき)

クルーズ振興・港湾物流企画室 課長補佐 西坂 博文 (にしざか ひろふみ)

TEL:092-418-3340 (代表)

TEL:092-418-3379 (直通) FAX:092-418-3037

【特集】2020年 官民連携による国際クルーズ拠点が発運用開始に！！

× 現在、九州地整管内では「国際旅客船拠点形成港湾」に八代港、佐世保港、鹿児島港、下関港の4港が指定されており、クルーズ船社による旅客施設等に対する投資と国や港湾管理者による受入環境の整備を組み合わせ、短期間で効率的な国際クルーズ拠点の形成を図っているところです。2020年には八代港と佐世保港の運用開始が予定されており、地域経済の発展はもとより、日本各地への更なる寄港促進に繋がることを期待されます。

2020年供用開始

港湾管理者：佐世保市  
連携船社：カーニバル・コーポレーション & plc



▲官民連携による国際旅客船拠点形成イメージ

[2023年(供用開始予定)]

港湾管理者：下関市  
連携船社：MSCクルーズ

下関港  
佐世保港

八代港

鹿児島港

[2022年(供用開始予定)]

港湾管理者：鹿児島県  
連携船社：ロイヤルカリビアン・クルーズ

2020年供用開始

港湾管理者：熊本県  
連携船社：ロイヤルカリビアン・クルーズ



▲官民連携による国際旅客船拠点形成イメージ

【特集】2019年九州の港湾へ寄港したクルーズ客船に関するランキング

× 2019年1月～12月にかけて、九州の港湾（山口県下関港含む）へ寄港したクルーズ船の寄港回数（速報値）は『772回』となりました。ここからは、2019年に九州の港へ寄港したクルーズ船に関する情報をランキング形式で紹介したいと思います。

1. 寄港回数【クルーズ客船別 ベスト10】

**1** コスタ・セレーナ 所属：コスタ・クルーズ



113回

(博多港) 総トン数：114,261トン 乗客定員：2,930人

**2** クァンタム・オブ・ザ・シーズ 所属：ロイヤルカリビアン・インターナショナル



75回

(鹿児島港) 総トン数：168,666トン 乗客定員：4,180人

**3** チャイニーズ・タイشان 所属：渤海クルーズ



68回

(北九州港) 総トン数：24,427トン 乗客定員：836人

4位以下のランキングはこちら。

4位	コスタ・ベネチア	56回	[所属：コスタ・クルーズ]
5位	ぼしふいっく びいなす	50回	[所属：日本クルーズ客船]
6位	MSCスプレンドイダ	46回	[所属：MSCクルーズ]
7位	スペクトラム・オブ・ザ・シーズ	40回	[所属：ロイヤルカリビアン・インターナショナル]
7位	にっぽん丸	40回	[所属：商船三井客船]
9位	エクスプローラー・ドリーム	35回	[所属：ドリームクルーズ]
10位	コスタ・ネオロマンチカ	32回	[所属：コスタ・クルーズ]

## 2. 寄港回数【クルーズ船社別 ベスト10】

	船社名（本社）	寄港回数	2019年九州へ寄港実績のある所属客船	
1	コスタ・クルーズ（イタリア）	207 回	コスタ・セレーナ	113 回
			コスタ・ベネチア	56 回
			コスタ・ネオロマンチカ	32 回
			コスタ・アトランチカ	6 回
2	ロイヤルカリビアン・インターナショナル（アメリカ合衆国）	118 回	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	75 回
			スペクトラム・オブ・ザ・シーズ	40 回
			ボイジャー・オブ・ザ・シーズ	3 回
3	渤海クルーズ（香港）	68 回	チャイニーズ・タイشان	68 回
4位	日本クルーズ客船（日本）	50 回	ばしふいつく びいなす	50 回
5位	MSCクルーズ（スイス）	46 回	MSCスプレディダ	46 回
6位	商船三井客船（日本）	40 回	にっぽん丸	40 回
7位	プリンセス・クルーズ（アメリカ合衆国）	37 回	ダイヤモンド・プリンセス	17 回
			マジェスティック・プリンセス	11 回
			サン・プリンセス	7 回
			サファイア・プリンセス	2 回
8位	ドリーム・クルーズ（香港）	35 回	エクスペローラー・ドリーム	35 回
9位	郵船クルーズ（日本）	27 回	飛鳥Ⅱ	27 回
10位	ポナン（フランス）	18 回	ル・ソリアル	12 回
			ル・ラベルズ	6 回

- コスタ・クルーズ** →同社所属の「コスタ・セレーナ」が日本に通年配船され、九州に数多く寄港しました。3月には新造船の「コスタ・ベネチア」が投入されたほか、「コスタ・ネオロマンチカ」による日本発着クルーズも実施されました。2020年「コスタ・ネオロマンチカ」は32本の日本発着クルーズを予定しています。
- ロイヤルカリビアン・インターナショナル** →これまで「世界最大客船」を次々と竣工させており、4月には新造船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」の運航を開始しました。2021年には22万トン級の新造船「ワンダー・オブ・ザ・シーズ」の中国配船が決定しています。
- 渤海クルーズ** →九州への配船が1隻ながら、同社所属「チャイニーズ・タイشان」が九州へ数多く寄港しました。
- プリンセス・クルーズ** →「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2019」国土交通大臣賞に「JTBクルーズ2019年サン・プリンセスの世界一周チャータークルーズ」が選ばれました。

※2019年、台風の影響によるキャンセルは41回、追加で6回の寄港がありました。（九州地方整備局調べ）

### 九州管内港湾におけるクルーズ客船寄港回数と乗船客数（12月実績）

港湾名	寄港回数	乗船客数	港湾名	寄港回数	乗船客数
長崎	12 回	42,967 人	油津	1 回	1,134 人
博多	9 回	27,717 人	別府	1 回	430 人
鹿児島	7 回	19,838 人			
佐世保	2 回	4,932 人			

※寄港回数及び乗船客数は、令和2年1月1日現在の速報値であり、後日変更される場合があります。

※乗船客数は、一部の港湾において概数表記されている場合があります。

### 「クルーズ振興」に関する情報提供HP

#### ●国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

<http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/cruise-report/cruise-report.html>

→九州管内（下関港含む）のクルーズ振興に関する情報を公表しています。公表済み「九州クルーズレポート」もこちらから確認できます。

#### ●国土交通省 港湾局

[http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan\\_tk4\\_000019.html](http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk4_000019.html)

→日本国内のクルーズ振興に関する情報を公表しています。我が国港湾のクルーズ客船等の動向や寄港回数のほか、各地のクルーズレポートも確認できます。

